



筑北小学校だより

令和6年2月 9日

No.11

筑北村立筑北小学校

今回の学校だよりは11月に実施した学校評価アンケートの結果をお伝えいたします。このアンケートは、学校運営、子どもたち一人ひとりへの支援・指導、授業改善に生かしていくために行いました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

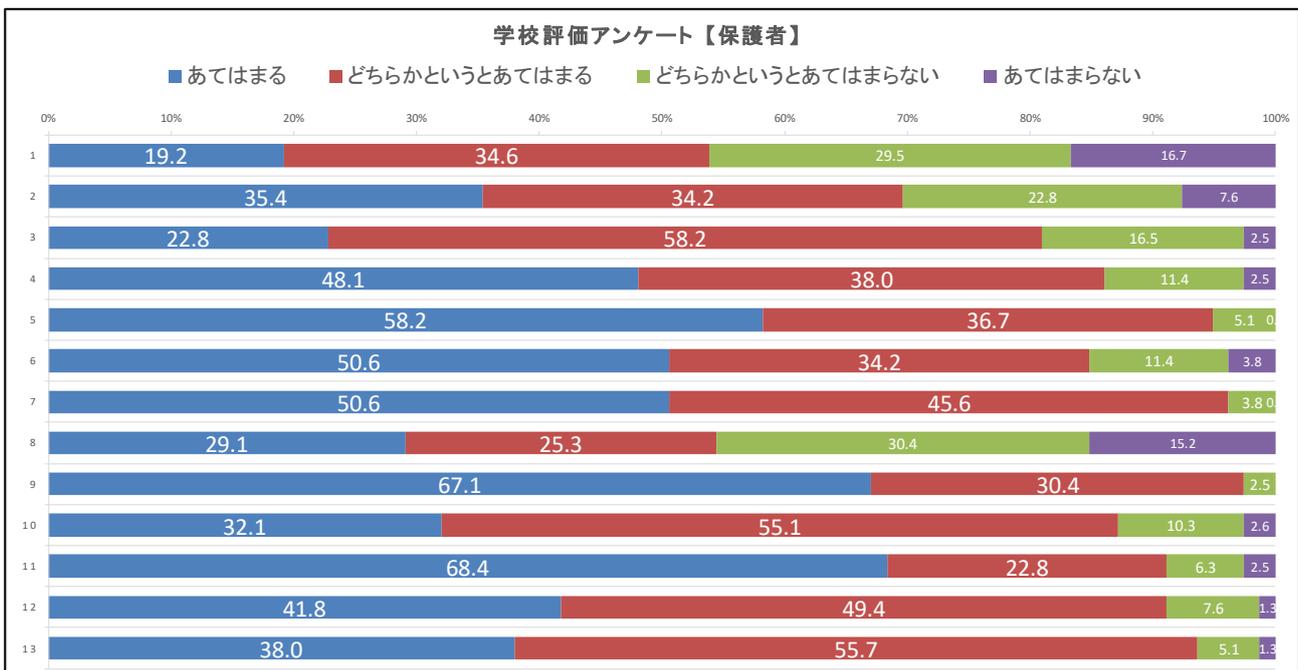
◇ 保護者アンケートより ◇

【回収率】

アンケートには児童数で回答いただきました。全校に123枚配布し、学校へ79枚提出していただきました。64%の回収率でした。(昨年度は65%) 今後は、保護者の皆様からのさらなる回収率向上のために、工夫を重ねてまいります。

NO	質問項目	R5	R4	増減
1	お子さんは、家庭で、よく本を読んでいる。	54	50	↑
2	お子さんは、家庭で、親が言わなくても自分から進んで勉強をしている。	70	71	↓
3	お子さんは、場に応じてきちんと挨拶ができる。	81	73	↑↑
4	お子さんは、地域の行事に参加している。	86	84	↑
5	お子さんは、友だちとなかよく学校生活を送っている。	94	93	↑
6	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	85	79	↑↑
7	家庭では、お子さんのよいところを褒めるなどして、自信を持たせるようにしている。	96	92	↑
8	お子さんは、家庭で、自分の将来や進路についての話をする。	54	61	↓
9	学校や学級の教育活動に関する情報提供(おたより等)は、役に立っている。	98	98	→
10	お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。	87	83	↑
11	お子さんは、家庭で、学校での出来事や友だちのことについて話をする。	91	91	→
12	学校は、お子さんの教育について、学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい。	91	79	↑↑
13	学校は、全体として期待に応えてくれている。	94	90	↑

※数値は“あてはまる”“どちらかというにあてはまる”の回答を合算したものだ。



記述回答(抜粋)

【登下校】

・朝、バス停に行くまで、なるべく皆で登校してほしい。

【行事】

- ・以前より「先生は忙しい」と言われており、先生方の負担を少しでも減らしていただきたいと思います。
- ・授業参観は各学期1回のみでいいと思います。他に音楽会などあるので。

【学校生活】

・感染症が心配な季節です。コロナ時にあったまめピカは続けていいように感じます。

【その他】

- ・いつもありがとうございます。
- ・大変だとは思いますが結果を重要視せず、経過や過程にも達成感や楽しさを経験できるような指導をしてもらいたいです。
- ・よく話をする子なので学校生活のことは大体イメージついています。高学年の授業の様子が気になるようです。進級が楽しみになるような、上級生に憧れるような刺激をもらってほしいです。
- ・特性(親の理解度も左右されていると思います)が強い児童が増えている中で、自己理解、他者理解を含め、どの児童も未来に向けて自信をもって成長してほしいと願います。周りの理解は難しいけれど、教育を含め子どもたちが明るく自己肯定感を高め、共に成長していける様、保護者、PTA、地域で子どもたちを育てたいですね。昨年度に比べると、自信もついてきていますし、先生方の理解も深くなってきていると感じます。いつも温かく見守って頂き感謝しています。ありがとうございます。

アンケート結果から

特徴的なものは次の4項目でした。

- 挨拶をすること、学校を楽しみにしている児童が増えている。
- 前年より相談しやすい学校になっていて、信頼も寄せられている。
- 家庭で本を読む割合は微増したものの、半数程度にとどまっている。
- 家庭学習、将来についての会話など、家庭での過ごし方について問題意識がある。



本年度、学校では読書活動を充実させるために、毎週木曜日の「読書デー」や体力の向上を目的とした「全校らんらん」。縦割り活動を大切にした「つながる時間」を設けて取り組んできました。「学校が楽しい!!」と感じている児童が増えたことは本当に嬉しいことです。また、保護者の皆さまからも日々の教育活動にご理解をいただき、相談しやすい信頼される学校になってきていることもありがたいです。これらの結果に慢心することなく、これからも子どもたちの姿をしっかりと見て、職員一同よりよい学校づくりを地域と共に進めてまいりたいと思います。

なお、例年課題となっている読書活動や学力の向上、家庭学習の在り方については、来年度に向けて校内でも検討しています。これらについては家庭との連携も大切になりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



◇児童アンケートより◇

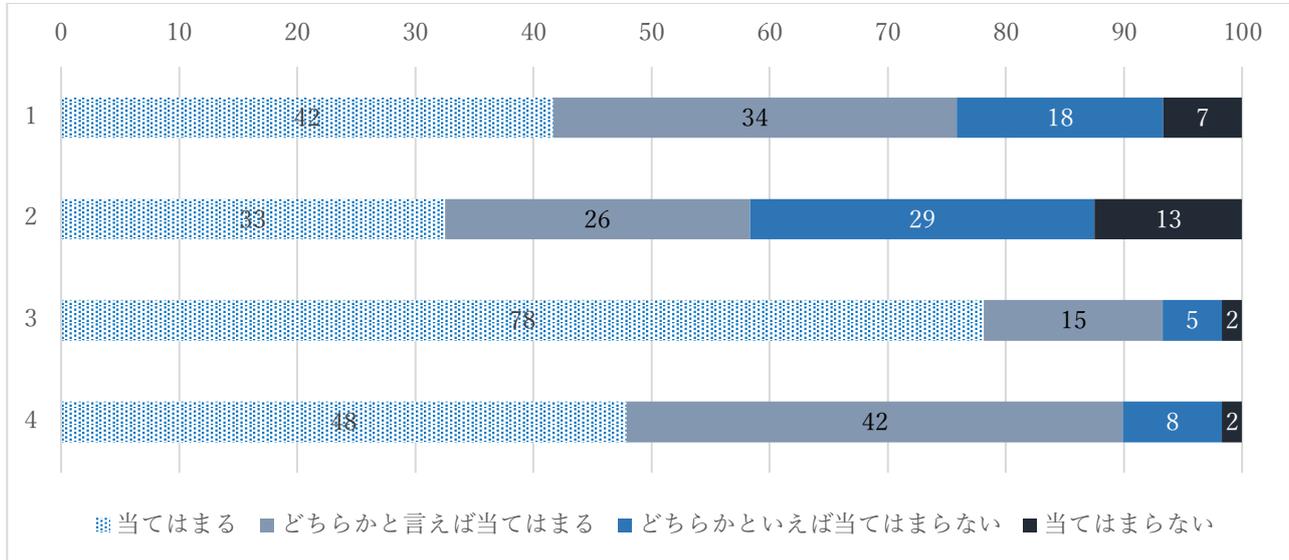
「つづける子」に関する質問

質問1 昨年度と比べて朝や休み時間など、体を動かして遊んでいますか。

質問2 昨年度と比べて読書を進んでしていますか。

質問3 学校の宿題をしていますか。

質問4 「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。



読書については、昨年度より若干上回った。本年度は読書デーを行ったり、昨年度までの結果を踏まえて読書活動に多く取り組んだりしたからだと思われる。運動については若干下回った。質問3、質問4については若干上回っている。どちらも基本的な生活習慣の大事なところなので、声かけをしていきたい。

「つながる子」に関する質問

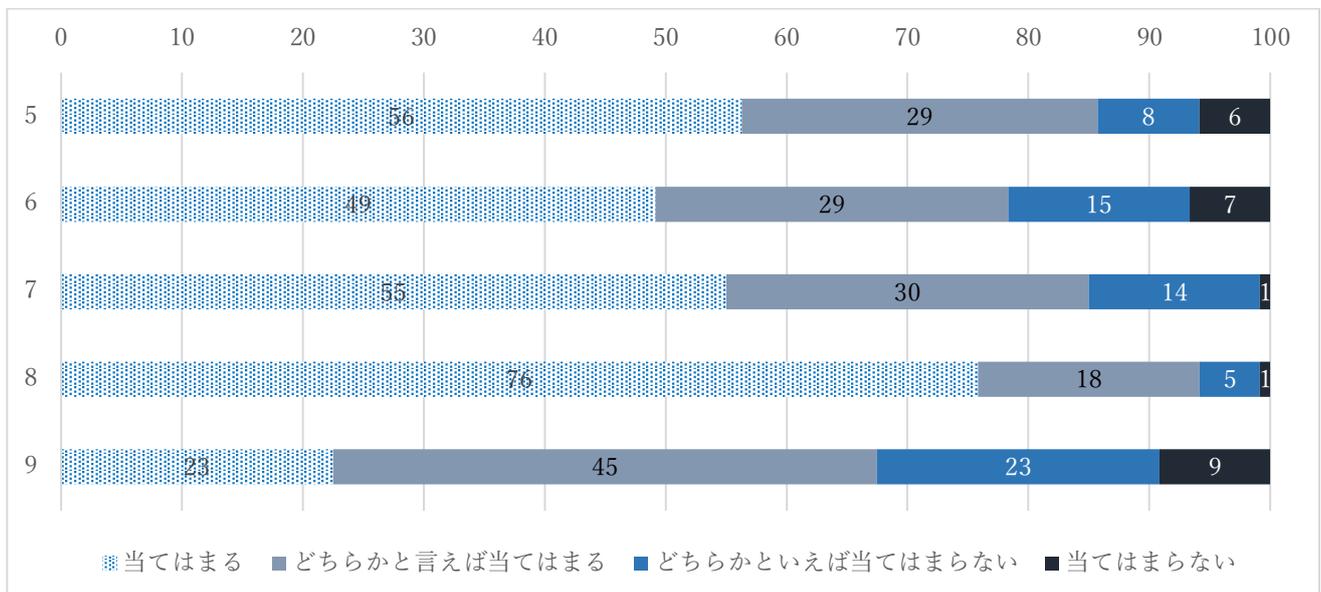
質問5 友だちや先生にあいさつしていますか。

質問6 地域の方にあいさつを返していますか。

質問7 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

質問8 友だちと仲良く学校生活をしていますか。

質問9 友だちの前で自分の考えや意見を発表しようとしていますか。



質問5・6の挨拶に関しては昨年度より上回っている。あいさつされたらあいさつが返せることを目標にし、教職員には今後も積極的に声がけをしてもらい、児童会の活動などと合わせて、あいさつの向上を目指したい。質問7の地区の行事に参加は大幅増となっている。地域の一員として積極的に参加をしていくことや、ふるさと学習など大切にしていきたい。質問8の友達と仲良く学校生活をしていますかは昨年同様高数値となっている。子どもたち同士の関わりを大切にした活動を取り入れたり、教職員に1人ひとりの子に広く目を配ってもらったりしたことが数値に表れていると思われる。質問9の意見を発表していますかという所では、昨年度より向上しているが、例年数値の低いところなので、向上を目指していきたい。

「自信を持ってかがやく子」に関する質問

質問10 学校に行くのは楽しいと思えますか。

質問11 自分には、よいところがあると思えますか。

質問12 人の役に立つ人間になりたいと思えますか。

質問13 将来の夢や目標をもっていますか。

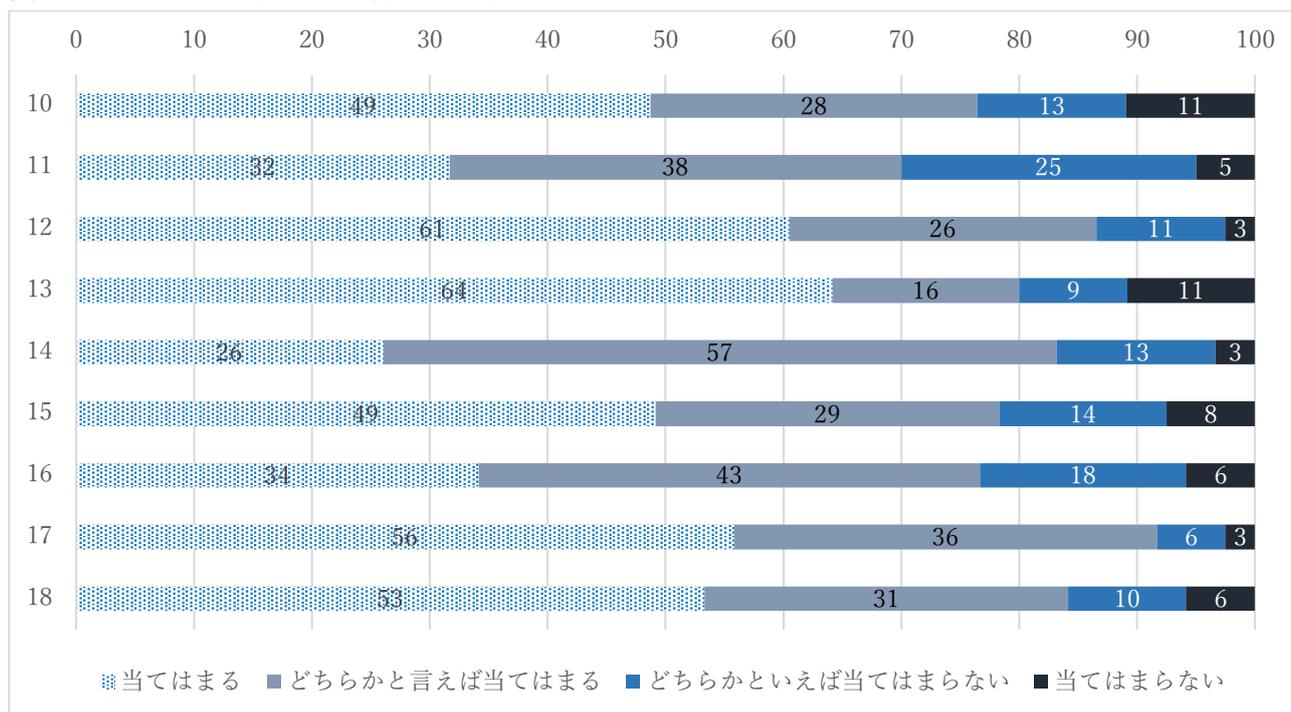
質問14 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか。

質問15 家庭で考えや思いを聞いてもらっていますか。

質問16 外国語の時間に、進んで英語を使っていますか。

質問17 授業はよくわかりますか。

質問18 学校で進んで学習していますか。



質問10の学校へ行くのが楽しいの項目が昨年より上回った。また質問17の授業はよくわかりますかの項目も上回った。教職員が子どもたちに分かりやすく楽しい授業になるように日々教材研究をし、工夫して授業を行ってきたからだと思われる。今年度始まったつながる時間や縦割り活動で、子どもたち同士のつながりが深まっていることにつながっていると考えられる。質問16の進んで英語を使っていますかの項目は、77%だった。本校は、平成27年度より、教育課程特例校（1.2年外国語活動）の適用を受けている。今後も子どもたちの外国語や外国の文化に親しめるよう、外国語専科・支援の先生やALTと連携していきたい。

◇職員アンケートより◇

質問1 児童のやる気に火をつける導入に心がけたか。

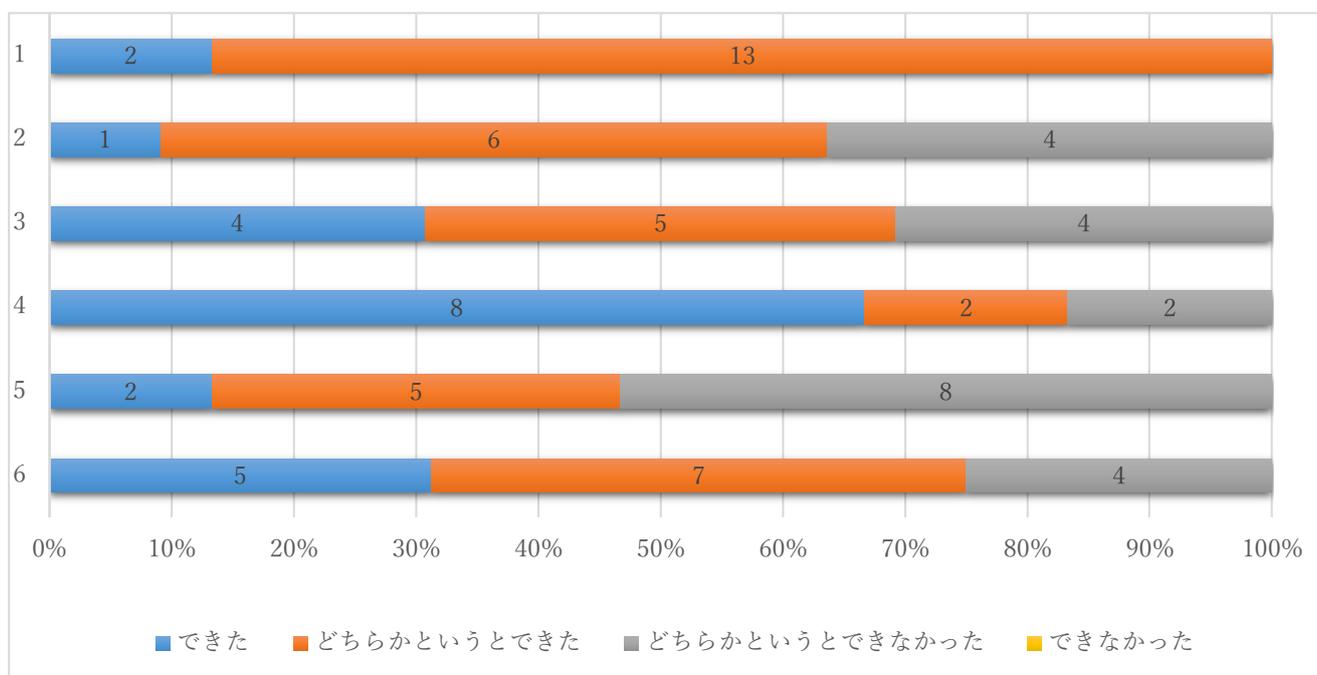
質問2 自分の言葉で学びを振り返る終末を行ったか。

質問3 ICTの活用や学び合いで、学び手が主役の授業展開を行ったか。

質問4 ICT機器を活用した授業を週に1回以上行ったか。

質問5 子どもたちの読書活動が広がる支援ができたか。

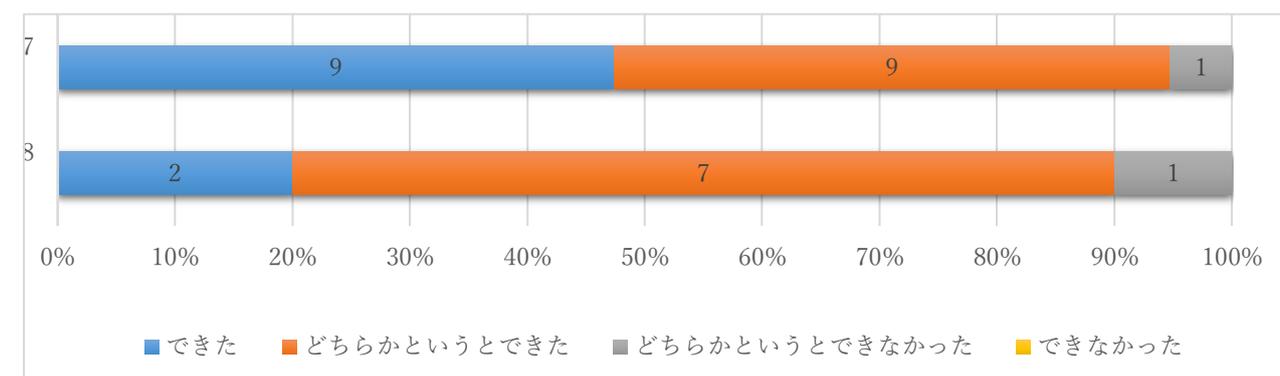
質問6 子どもたちの運動遊びや体力づくりを後押しする支援ができたか。



- ・昨年度より、授業の導入、終末の部分を意識して行っている。教材研究などに力を入れて取り組んでいる。
- ・ICT機器についてはかなりの活用がされているが、学び手が主役の授業展開では昨年度より下がっている。ICT支援員さんの力も借りて、さらなる授業改善を図りたい。
- ・質問6については昨年度より肯定的回答が下がっている。時間の確保だけでなく、内容ややり方についても子どもたちの運動量の増加につながるように工夫する必要がある。

質問7 自分から積極的に子どもたちにあいさつしたり、あいさつができるように指導したりすることができた。

質問8 地域講師・外部講師等を積極的に活用したり、地域に出かけたりするなどして、他者とつながる学習の場を設定できたか。



- ・挨拶に関しては先生方が意識的に行っているが、子どもたちの挨拶という面ではまだまだと云えるので、まずはあいさつされたらあいさつが返せることを目標にし、教職員には今後も積極的に声がけをしてもらおう。児童会の活動などと合わせて、あいさつの向上も目指していきたい。
- ・今年度、各学年ふるさと学習を積極的に行っている成果として質問8が昨年度より大幅に向上している。児童アンケートのふるさと学習における記述回答をみても、自分たちがどんな活動をしてきたか、どんな学習となったかがしっかり書かれていた。

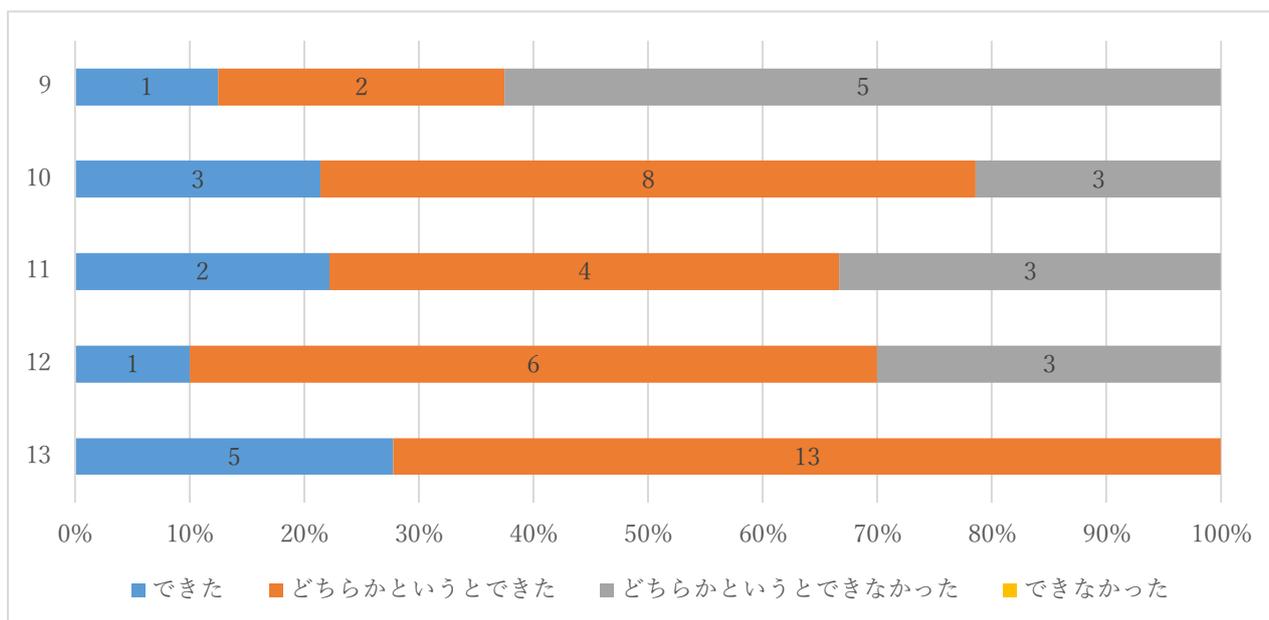
質問 9 子どもたちが、外国語や外国の文化に親しみ、英語を話す必要性のある授業展開を
考えることができたか。

質問10 子どもたちが、進んで自分の考えを発表したり対話したりする活動を取り入れた授業
を行ったか。

質問11 ふるさと学習を探究的な学習にするための支援を行ったか。

質問12 他者や地域に発信する場を設定できたか。

質問13 子どもたちの自尊感情を高める支援ができたか。



- ・質問9は今年追加した項目なので、昨年度比較はできないが、値として低く出ている。授業を行っている先生が少ないことも影響しているかもしれないが、本校は外国語教育活動指定校になっているので、外国語を使う必要性のある授業展開を外国語専科・支援員、ALTと担任が連携して行っていきたい。
- ・質問12の発信の場の設定は昨年度より大幅に向上した。先生方が活動の見通しを持ち、発信という所まで意識した授業展開ができている。

※体罰に関する記述は、保護者、児童、教職員ともにアンケートにはありませんでした。